

緊急津波避難情報システム

～モニター募集のお知らせ～

東日本大震災における津波被害の教訓から、迅速な避難行動につなげるためには「個人向け津波避難情報の発信」が必要であり、適切な避難情報を個人へ確実に発信することが求められております。

そこで、緊急地震速報並びに津波警報・情報を利用して、一定規模以上の地震が発生した際、予め登録されたPC/携帯電話等に適切な避難情報をメールにより配信するとともに、避難完了、安否情報などを関係者にお知らせするシステムを開発いたしました。

この度、本格運用に向け、企業・自治体・学校等を対象として本システムを試験的に利用していただくモニターを募集することといたしました。

システムの概要

企業

従業員への地震・津波情報（避難場所）の配信
避難完了一括表示
家族などへの安否情報（避難場所）の配信

自治体

職員への地震・津波情報（避難場所）の配信
職員の勤務状態を確認
避難完了一括表示
家族などへの安否情報（避難場所）の配信

学校・保育園

職員への地震・津波情報（避難場所）の配信
職員が児童を避難誘導
児童の避難完了後、保護者への安否情報（避難場所）の配信



登録には各登録者毎の携帯・スマートフォン・タブレット等のメールアドレスが必要です。



避難完了表示画面はPC、通信可能なタブレット端末などで利用できます。



安否情報メール配信には家族などのメールアドレスの登録が必要です。



登録者数は最大200人までとなります。

募集期間・お申し込み先

お気軽にお問い合わせください！

[社会実験実施時期]

平成26年3月1日(土)～9月30日(水)

※実験に要する時間は準備・意見交換を含め半日程度を予定しています。
※実施日時については調整させていただきます。

[募集期間]

平成26年2月10日(土)～8月2日(土)



お申込みはメールまたはFAXでお願いいたします

特定非営利活動法人

リアルタイム地震・防災情報利用協議会

TEL : 03-5366-2720

FAX : 03-5366-2740

E-mail : reic_info@eq7realtime.org

<<担当：高田>>

開発者

東北大学教授 今村 文彦（総括）

東北大学教授 寺田 賢二郎

東京大学教授 堀 宗朗

弘前大学教授 有賀 義明

特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会 専務理事

大保 直人（東京電機大学非常勤講師）

一般社団法人東北地域づくり協会

支援者

一般社団法人東北地域づくり協会

理事長 菅原 政一

○一般社団法人東北地域づくり協会は建設事業の円滑な推進に資し、もって国土開発の発展に寄与することを目的として、大学・民間・関係団体などに技術開発への支援を行ってきております。

～登録・利用の流れ～

事前登録

利用者のメールアドレス、安否情報を送る家族などのメールアドレス、避難場所(位置、標高)など

地震発生・津波発生(気象庁より)

システムからの情報配信

地震・津波情報・避難場所情報・避難確認メール(返信リンク付き)

避難完了の返信

避難完了確認

《登録者受信画面》

クリックすると...

《避難完了表示画面イメージ》

受信メール

*〒.il | 送信 | 印刷

Date: 2012/12/8/...
From: tsunami_info@eq7realtime...
Subject: 避難確認

避難場所に到着したら下記をクリックしてください。

<http://61.115...>

END

登録者状況

グループ選択: [全グループ]

避難完了者数 = 6人中 2人

避難確認情報再配信

- 緊急地震速報
- 津波情報
- 避難確認中
- 避難完了

避難確認メールのリンクをクリックすると登録者が避難完了となり表示画面で確認できます。

クリックすると...

システムから安否情報を配信

配信終了(解除情報)

〇〇さんは12月7日11時05分頃に避難しました。等、安否情報が予め登録した家族などへメール配信されます。



特定非営利活動法人

REICリアルタイム地震・防災情報利用協議会

〒160-0016 東京都新宿区信濃町11-3 AK信濃町ビル2F

TEL:03-5366-2720 FAX:03-5366-2740 E-mail:reic_info@eq7realtime.org